



## 鳥とりの中なかで、いちばんおそく飛とぶのは何なんなの

### 飛とぶのがおそいトリ

ふつう、体からだが重おもいわりに、つばさが強きょうりよく力りよくではない鳥とりは、飛とぶのがおそいといえます。また、あまりゆっくり飛とぶと、鳥とりでも空そらにういていられなくて、失しつそく速そくして落おちてしまいます。

いちばんゆっくり飛とべる鳥とりとしては、アメリカヤマシギがメスに求きゅうこん婚こんするとき、時じそく速そく8キロメートルぐらいで飛とぶといわれています。このスピードでは、あまりゆっくりなので、見みあがせていると、空くうちゅう中ちゅうにとまっているように見みえます。

でも、この時じそく速そく8キロメートルという速はやさは、オリムピックに出でる人にんげん間かんの男だん子し水すい泳えい選せん手しゅの速はや度どと同じなのです。

### わたり鳥どりは、飛とぶのが速はやい

カラスやスズメなど、ふつうによく見みかけるトリの速はや度は、だいたい、時じそく速そく32～48キロメートルといわれています。

カモなどのように、長ながいきよりを、わたりをするトリは、水すい平へいに飛とぶときの速はや度が速はやいものが多いです。マガモは、その中なかでもとても速はやいほうで、最さい高こう時じそく速そく105キロメートルという記き録ろくがあります。いちばん速はやいといわれているのは、ハリオアマツバメで、最さい高こう時じそく速そくは、およそ171キロメートルといわれています。

### 空くうちゅう中ちゅうにとまっていられるトリ

おそく飛とぶということを、前まえに進すすまない、空くうちゅう中ちゅうで止とまっていられる、ということかんがで考かんがえると、ハチドリが代だい表ひょうになってきます。世せ界かい一いち小せうさい鳥ちゅうの仲ちゅう間かんで、大だいきさはスズメバチぐらいしかありません。羽はばたきながら空くうちゅう中ちゅうにうかんだ状じょう態たいで花はなのみつを吸すいます。小こ型がたのハチドリでは、1びょう秒かん間に70～80回も羽かいばたきをしています。(監かん修しゅう・今いま泉せん 忠ちゅう明めい)

